

2018年度(平成30年度)

事業報告書

(第8事業年度)

自 2018年1月1日

至 2018年12月31日



公益社団法人 企業メセナ協議会
Association for Corporate Support of the Arts

目 次

I. 法人の概況	2
1. 公益社団法人設立年月日	
2. 定款に定める目的	
3. 定款に定める事業内容	
4. 公益法人の認定等に関する事項	
5. 会員の状況	
6. 役員等	
II. 組織運営の概況	4
1. 会議等の開催状況	
2. 部会・ワーキンググループによる事業・活動の推進	
III. 事業概要	6
公 1: 企業による芸術・文化支援および芸術・文化振興による社会創造の促進と普及	
1-1. 提言・提案活動	9
1-2. 調査研究事業	9
1-3. 認定・顕彰事業	11
1-4. 情報発信	14
1) 広報活動	
2) ウェブサイト運営	
3) 出版、ライブラリー	
1-5. 普及促進	17
1) メセナフォーラム等	
2) 国際交流	
3) メセナネットワーク	
4) 地域メセナ交流・推進	
1-6. コーディネート、協力	22
公 2: 芸術・文化活動等への寄付を促す助成に関する事業	
2-1. 2018 年 重点活動	24
2-2. 2018 年 助成事業活動状況	25

I. 法人の概況

1. 公益社団法人設立年月日

2011年1月6日

※ 1990年4月20日設立の旧社団法人は、移行認定に伴い2011年1月5日に解散登記を行った。

2. 定款に定める目的

この法人は、企業をはじめ芸術文化に関わる団体が参加、協働し、芸術文化振興のための環境づくりと基盤整備に努め、創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

この法人は、先の目的を達成するために、次の公益目的事業を行う。

- (1) 企業による芸術文化支援の促進と普及
- (2) 芸術文化支援に関する情報の収集・発信および仲介・協力
- (3) 芸術文化支援に関する調査・研究および文化政策に関する提言・提案
- (4) 国内外の芸術文化振興に関する団体・機関との交流・連携および企業相互の協力・連携による芸術文化支援の推進
- (5) 企業等による芸術文化支援活動の顕彰
- (6) 芸術文化活動への寄付を促す助成に関する事業
- (7) その他公益目的を達成するために必要な事業

この法人は、公益目的事業の推進に資するための事業を必要に応じ行う。

4. 公益法人の認定等に関する事項

当該事業年度において、認定法の規定により内閣府から受けた勧告、または命令はなかった。

5. 会員の状況

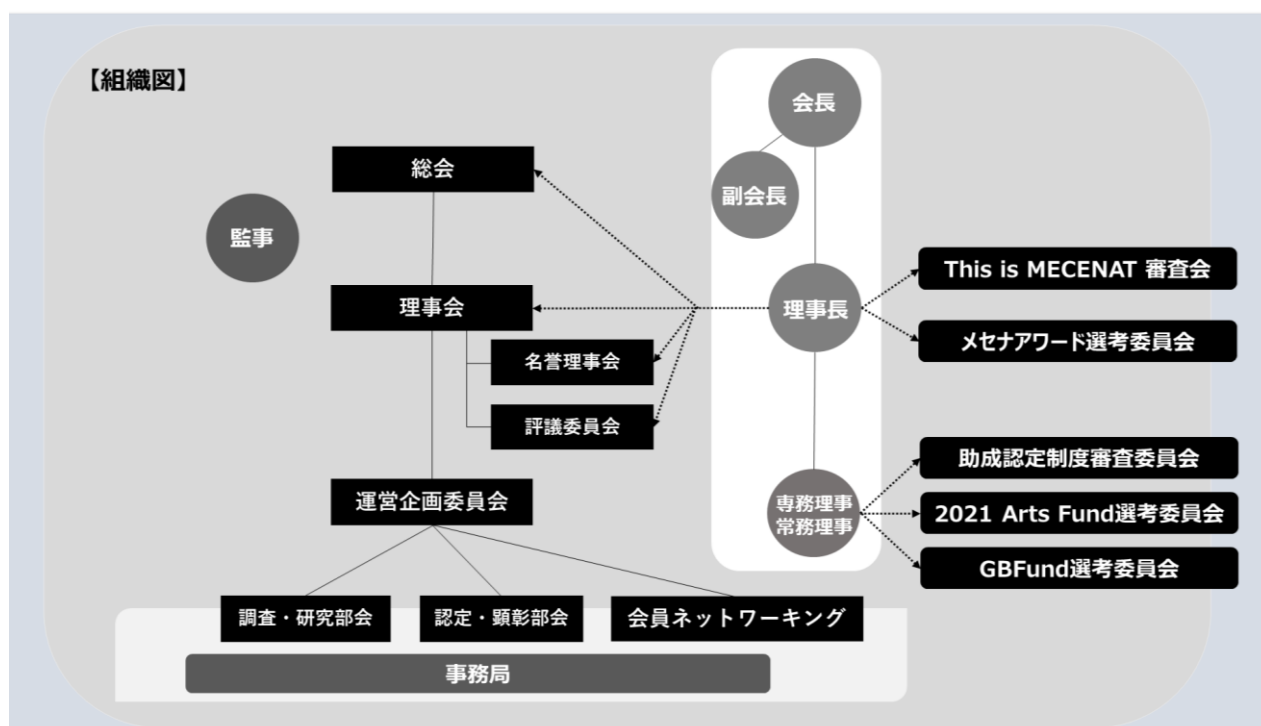
正会員:127社・団体 準会員:36社・団体/17名 (2018年12月31日現在)

6. 役員等

2018年12月31日現在

名誉会長	福原義春	株式会社資生堂 名誉会長
顧問	福地茂雄	アサヒグループホールディングス株式会社 社友
会長	高嶋達佳	株式会社電通 相談役
副会長	渡辺雅隆	株式会社朝日新聞社 代表取締役社長
理事長	尾崎元規	花王株式会社 前取締役会 会長
常務理事	澤田澄子	兼務 事務局長
理事	泉谷直木	アサヒグループホールディングス株式会社 代表取締役会長
	河島伸子	同志社大学経済学部 教授
	朽木英次	トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部長
	古賀信行	野村ホールディングス株式会社 取締役会長
	杉村亥一郎	凸版印刷株式会社 参与
	田中俊宏	株式会社資生堂 企業文化部長
	原島 博	東京大学 名誉教授
	福川伸次	一般財団法人地球産業文化研究所 顧問
	二宮雅也	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 取締役会長
	星 久人	株式会社ベネッセホールディングス 特別顧問
	吉本光宏	株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事
監事	岩田武司	弁護士
	岡部 亮	前公益財団法人公益法人協会 相談室 室長
名誉理事	遠藤信博	日本電気株式会社 代表取締役会長
	北島義俊	大日本印刷株式会社 代表取締役社長
	佐治信忠	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役会長
	塚本能交	株式会社ワコールホールディングス 代表取締役会長
	早川 茂	トヨタ自動車株式会社 代表取締役副会長
	平田保雄	公益社団法人日本経済研究センター代表理事 会長
	福武總一郎	株式会社ベネッセホールディングス 名誉顧問
	藤本宣人	日本生命保険相互会社 取締役常務執行役員
渡邊光一郎	第一生命保険株式会社 代表取締役会長	
評議員	足立直樹	凸版印刷株式会社 代表取締役会長
	奥村洋治	株式会社フジタ 代表取締役社長
	芝川能一	千島土地株式会社 代表取締役社長
	竹安 聡	パナソニック株式会社 執行役員
	田中稔三	キャノン株式会社 代表取締役副社長 CFO
	戸田裕一	株式会社博報堂 取締役会長
	前田晃伸	株式会社みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問

II. 組織運営の概況



1. 会議等の開催状況

【定時社員総会】

- 3月5日:2017年度事業報告並びに収支決算／新理事・監事選任/定款、役員報酬及び費用に関する規程の改正、社員総会運営規則の制定

【通常理事会】

- 2月6日:2017年度事業報告並びに収支決算／次期理事・監事候補について／定款の改正について/理事の職務権限規程について／定時社員総会の招集／代表理事・執行理事の職務の執行状況の報告
- 12月7日:2019年度事業計画・収支予算(案)の件／事業の実施・経過状況の報告 代表理事・執行理事の職務の執行状況の報告

【臨時理事会】

- 3月5日:代表理事・執行理事選定の件/理事長、会長、副会長、常務理事選定の件/理事長、会長、副会長、常務理事の報酬の件
- 6月15日:事務局規程改定の件
- 9月25日:新会員承認の件／諸規定改定の件

【運営企画委員会】

- 8月1日:新任委員の紹介/上期活動報告/規程の改定について/協議会 WEBリニューアルについて/30周年記念事業について/運営について/朝日新聞社のCSR活動とSDGsについて
- 11月1日:文化庁創立50周年記念受賞と福原名誉会長の文化功労者選定の報告/2019年度事業計画・予算(案)について/Mecena Award 2018 報告/会員ネットワーキング活動について/アサヒグループホールディングスのSDGs、CSVなどの取り組みについて/ICOM2019 京都大会について

【役員・運営企画委員会合同会議】

- 2月6日:2017年度事業報告並びに収支決算／次期理事・監事候補について／定款の改正について/理事の職務権限規程について／定時社員総会の招集／代表理事・執行理事の職務の執行状況の報告
- 12月7日:2019年度事業計画・収支予算(案)の件／事業の実施・経過状況の報告 代表理事・執行理事の職務の執行状況の報告/花王の社会貢献活動について

2. 部会・ワーキンググループによる事業・活動の推進

(◎: 部会長／グループリーダー、○: サブリーダー 敬称略 *2018/12/31 現在)

【調査研究部会】 (3回: 1/22、6/13、12/6)

企業・企業財団によるメセナ活動の実態や傾向、意識等を調査・分析し、メセナを担う実務担当者に情報を提供するとともに広く社会に紹介。メセナに関する研究の提案、方向性を検討する。

◎森実尚子(日本電気)、津志雅昭(朝日新聞社)、吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)

【認定・顕彰部会】 (5回: 1/18[臨時]、4/17、7/19、7/26、12/18)

メセナに取り組む企業・企業財団等を励まし、社会からの関心を高めることを目的として、百社百様のメセナを認定する「This is MECENAT」について議論し、顕彰事業「メセナアワード」の運営を担う。

◎飯田直子(大日本印刷)、泉 菜々子(第一生命)、樫村俊也(竹中工務店)、片島康彦(電通)、反町弘智(東日本鉄道文化財団)、真木 優(資生堂)

【会員ネットワーキンググループ】 (6回: 3/29、6/28、7/4、8/2、10/24、12/13)

会員相互の交流・連携強化を目的とし、情報交換・相談・研鑽等を恒常的に行える場を設ける。各事業に関連つけた会合を開き、相互のネットワークづくりに貢献する。

◎宗村 泉(凸版印刷)、○内倉真紀子(白寿生科学研究所)、長島彩路(朝日新聞社)、岡部三知代(竹中工務店)、道嶋彩夏(パソナ)、星 久人(ベネッセホールディングス)、高梨 徹(ベネッセホールディングス)、小森福見(リクルートホールディングス)、鈴木久美子(リソー教育)

Ⅲ. 事業概要

2020年そしてその先へ、協議会の基盤整備と発信力強化に取り組む
～芸術・文化による社会創造に向け、タイムリーで効果的な活動を着実に展開～

昨年度、協議会としての価値を今まで以上に発揮できるよう、組織全体として有機的に活動できる体制に移行した。本年度も同様に①調査・研究、②認定・顕彰、③助成を事業の柱とし、会員ネットワーク、セミナー、広報活動を横断的に実施するよう努めた。各事業の情報共有・連携をさらに進めるとともに、協議会全体としてより質の高い活動ができるよう、基盤となるシステムの改善に取り組みこれまで積み残されていた課題を解決し、来年度以降の改善への道筋ができた。加えて、発信力強化のため、複雑化して解りにくくなっている Web の改善についても検討を開始し、まずできるところから改善を行った。また、今まで手付かずであった協議会設立以来作成された出版物などの貴重な資料を、適切に保存し幅広く有効活用するために電子データ化の準備を行い、来年度以降段階的に実行できるように整えた。

2020年の協議会設立30周年、またその先を見据え、協議会や各事業のあり方について運営企画委員会や部会のメンバーと検討を行い、会員の皆様や外部の様々なステークホルダーの方々とコミュニケーションを通じて活動の充実を図るとともに、プラットフォームとしての役割を果たすよう努めた。

調査事業では、5月に2017年メセナ活動実態調査報告会とともに「SDGsとメセナ」というテーマでシンポジウムを行い、多くの来場者を集めた。メセナを進める上でSDGsにどのように対応して行くのがよいかなどについて関心の高さが伺えた。

認定・顕彰事業においては、メセナ認定制度「This is MECENAT」(TIM)が5年目となり、募集開始を従来の3月から4月に変更し、調査事業との連携による新規活動の掘り起こしと前年度認定された活動へのヒアリングを積極的に行い外部発信の機会をできるだけ多くとるように努めるなど発信力の強化に努めた。その結果、継続して認定される活動が112件となり、前年度を13件上回った。新規登録は20社・団体でその内非会員企業が15社となり、徐々に活動の裾野を拓げてきている。引き続き認定されることにより各地で行われている様々な企業メセナ活動に光があたるよう、協議会全体としても発信力強化に取り組んでいる。

本年度のメセナアワードには、地道に長年継続的に行われている活動や、地域活性化への取り組み、2社共同の活動などが選ばれ、日本全国で繰り広げられている企業メセナが日本の芸術文化の

基盤を支えている姿が浮き彫りになるだけでなく、今後の新たな企業メセナの可能性も感じさせる結果となった。

助成事業では、「2021 芸術・文化による社会創造ファンド(2021ArtsFund)」が徐々に認知度を増してきており、システムを利用しての活動申請、寄付申請も増えてきている。また、「GBFund」については、2017年1月から「芸術・文化による災害復興支援ファンド」としてより幅広くとらえ継続しているが、本年度下期から運用規程を整え寄付者の要望に沿って協議会のコーディネートにより被災地支援を行っていくことで対応している。12月には、現地のリサーチを行い平成30年7月豪雨も協議会として対象と認定し、要望に沿って支援を実施することになった。

国際交流事業としては、2月に、文化庁の助成を受け、国際セミナー「企業と芸術の新しい関係～オーストラリアの先進事例から～」を開催し、企業だけでなくNPO、アーティスト、研究者などから多様な質問がだされ、活動のヒントを得られたなどの感想が寄せられた。また、国際交流基金アジアセンターの助成を受けたアセアンプログラムの集大成として「アセアン・カフェ ～企業と歩む、アジア社会と芸術文化支援～ 3年間の成果を踏まえて」を開催し、ゲストだけでなく来場者を含め活発な意見交換が行われ、アセアン諸国の変化に感銘を受けたなどの好評を得ることができた。

【2018年度事業等実施状況】

月	主な事業・活動	プレス	理事会・部会等
1月	賀詞交歓会・パソナ大手町本社ツアー(1/24) 助成相談日(1/12)		調査研究① 認定・顕彰①(臨時)
	SOMPOアート・ファンド第3回選考会(1/26)		
2月	国際セミナー「企業と芸術の新しい関係～オーストラリアの先進事例から」(2/6)		
	アセアン・カフェ「企業と歩む、アジア社会と芸術文化支援～3年間のASEANプログラムの成果を踏まえて～」(2/7)		第15回通常理事会(2/8)
	アセアン・カフェ登壇者らの企業メセナ視察@三菱地所・電通(2/8)		
	助成相談日(2/22) SOMPOアート・ファンド ネットワークミーティング 2018 開催(2/27)	①	
3月	特別講演会(3/5) 「2020年文化プログラムと未来に向けた文化支援」 「Hotel Okura Tokyo Culture Fund」第2回選考会(3/6) 助成審査会(3/6)	②	第8回社員総会・第31回臨時理事会(3/5)
	『2017年度メセナ活動実態調査報告書 Mecenat Report 2017』発行(3/23)、助成相談日(3/27)	③	会員NW①
	第3期メセナライター委嘱期間終了 TIM2018 募集スタート(3/20)	④	
	TIM 募集(4/1-5/22) 助成相談日(4/26)		認定・顕彰②
5月	アワード募集(-5/31)、助成相談日(5/23) 「2017年度メセナ活動実態調査」報告会 及び シンポジウム「SDGs とメセナ」(5/23)		
6月	助成審査会(6/22)、助成相談日(6/26) TIM 審査会(6/25) 第5期メセナ・アソシエイト公募(6/20-7/31)		会員NW② 調査研究②
7月	新入会員ファーストミーティング(7/4)	⑤	認定・顕彰③④
8月	助成相談日(8/27)	⑥	第1回運営企画委員会(8/1) 会員NW③
9月	韓国 済州メセナ協会訪問団来局/電通・アドミュージアム東京の視察(9/5)	⑦	第5期メセナ・アソシエイトMTG①
	アワード選考会①(9/4)、②(9/25) 第4期メセナライター委嘱期間開始 助成審査会(9/22)		
	助成相談日(10/9)		
10月	アワード記者発表会(10/26)	⑧	会員NW④ 第5期メセナ・アソシエイトMTG②
	「SOMPOアート・ファンド」フィールド視察(日田・別府)(11/17-18) 助成相談日(11/26)、アワード贈呈式(11/29)		第2回運営企画委員会(11/1)
12月	メセナ美術部「銀クリ」ツアー(12/13)		第16回通常理事会(12/7) 第3回運営企画委員会(12/7)
	「Hotel Okura Tokyo Culture Fund」第3回選考会(12/17)		調査研究③ 第5期メセナ・アソシエイト中間発表会(調査部会内)
			認定・顕彰⑤

1:企業による芸術・文化支援および芸術・文化振興による社会創造の促進と普及

1-1. 提言・提案活動

■行政、自治体など公的機関の文化政策活動への参画

- 文化庁、芸術系大学によるアートマネジメント人材育成プログラムへの民間委員としての参加
- 東京都のボランティア活動推進協議会へのメセナ案件の推薦を受嘱し推薦
- 静岡県文化審議委員会の委員として文化振興基本計画に参画
- 船橋市文化振興推進協議会の委員として、文化振興施策の評価、提言などを行い総合的な推進に参画

■東南アジア諸国とのネットワーク形成、各国の芸術文化振興の促進に貢献

- 協議会 25 周年事業で行った国際会議を機に、国際交流基金アジアセンターの助成を受け東南アジア諸国を中心とした各国の文化機関とのネットワーク形成のため、特にインドネシアとマレーシア、シンガポールを訪問し議論を深めてきた。本年 2 月にはこれまでの集大成として訪問した 3 か国から東京にゲストを招き、国際会議(アセアン・カフェ)を開催。ASEAN 各国の文化状況を知るとともに、ネットワークの強化と各国それぞれの社会的背景に基づく芸術文化振興促進と今後の交流につなげることができた。

1-2. 調査研究事業

■企業メセナの実態に迫る調査・研究

- 2018 年度の調査研究事業では、昨年に引き続き①国内のメセナに関する調査、②国内メセナ事例の研究(メセナ・アソシエイト)、③国外のメセナに関する調査、を重点に業務を推進した。
- 例年行っている「メセナ活動実態調査」では、アンケートを中心にデータを収集。昨年度は実施を見送った企業財団へのアンケートも実施し、一昨年に引き続き幅広い観点からメセナ活動の実態を把握することに努めた。これにより企業 328 社・企業財団 175 団体より回答を得ることができた。
- 実態調査については、部会でのディスカッションや集計結果の分析に割く時間の不足等、全体的に余裕のないスケジュールが課題であった。今年度は例年 3 月に実施していた報告会を 5 月にずらし分析に充てる時間を増やすことで、報告書の質をより高めるよう努めた。
- 調査研究部会は今年度 3 回実施。第 2 回目では新たな部会長を迎え事務局担当も変わったため、部会長と事務局で実態調査報告会などを振り返り、今後の実態調査の方向性についてディスカッションを行った。第 1 回目では、昨年度集計結果の中間報告を基に報告書の内容案について意見交換を行い、第 3 回目では本年度実態調査集計結果を分析し、各企業のメセナ活動の現状をより実態に則して把握できるよう検討を行った。
- 『2017 年度メセナ活動実態調査報告書 Mecenat Report2017』は 3 月 23 日に発行し、内容などについて企業や、官公庁から問い合わせを受けた。企業、官公庁のみならずアート関係者や国内外の方々にも幅広く調査結果を活用してもらえよう努めた。
- 2017 年度メセナ活動実態調査の内容を詳しく理解してもらうため 5 月 23 日に報告会を実施した。同時に現在大きな関心を集めている「SDGs とメセナ」というテーマでシンポジウムを開催した。ゲストとして国連広報センター所長根本かおる氏、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 主席研究員 天下義之氏に講演いただいた。講演後に吉本光宏氏のモデレートのもと登壇者との意見交換を行い、参加者も含めた質疑応答の時間には活発な議論が行われた。アンケート回答者の 9 割以上の方から好評を得た。

【「2017年度メセナ活動実態調査」報告会 及び シンポジウム「SDGs とメセナ」】

- 実施日 2018年5月23日(水) 16:00～18:00
- 会場 ビジョンセンター田町 405室(東京都港区)
- 登壇 調査研究部会部会長:吉村真也(TOA(株))
 ゲスト :根本かおる(国連広報センター所長)
 太下義之(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 主席研究員)
 モデレーター:吉本光宏((株)ニッセイ基礎研究所研究理事)
- 参加者 51名(会員企業・個人会員、一般等)
 *文化庁 平成30年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」委託事業

■海外の企業メセナの状況把握と国際比較

- 海外事業に詳しいメセナ・アソシエイトの協力のもと各国メセナ機関の概要、調査/顕彰事業の有無およびその詳細について調査を実施し、最新の情報をウェブに掲載した。
- 海外における芸術文化支援の先進的な実践例を学ぶ国際セミナーを開催した。芸術文化分野のマーケティング・ファンドレイジングの専門家であるジャンン・コリンズ氏、ブルース・マカスキル氏をゲストに迎え、オーストラリアでの先進的実践例や、芸術文化活動のマーケティング、ファンドレイジングについての講演の後、参加者と活発な意見交換が行われた。
- 【国際セミナー「企業と芸術の新しい関係～オーストラリアの先進事例から～」】

- 実施日 :2018年2月6日(火)10:00～11:30
- 会場 :SHIBAURA HOUSE 5F
- ゲスト:ジャンン・コリンズ(J9コンサルティング・プリンシパル)
 ブルース・マカスキル(マネジング・ディレクター、フィット・スポンサーシップ・グループ会長
 フィット・スポンサーシップ・アカデミー)
- 参加者:24名(会員9名、招待2名、一般13名)
 *文化庁 平成29年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」委託事業

■メセナ・アソシエイトによる事例研究

- 2014年度より導入した「メセナ・アソシエイト」は、外部の若手研究者が各自の専門性を活かしながら関心あるテーマを設け、企業メセナについて研究を行うものである。毎月のライブラミーティングで議論を深め、調査研究部会との意見交換を行いながら自らのテーマを探り、企業各社への取材を行いつつ、メセナの事例研究を行っている。
- 第4期のメセナ・アソシエイト2名は、毎月定期的に事務局とのミーティングを行いながら、会員企業を始め、それぞれの研究テーマに沿い、企業などにヒアリングの上、レポートを作成し7月にウェブ上に掲載した。

第4期メセナ・アソシエイト

氏名	タイトル	取材企業・施設
藤井亜希子	アートによる社会包摂活動と企業メセナ	三菱地所株式会社、可児市文化創造センター、可児市教育委員会、可児市福祉課、亀谷電気商会、ライオンズクラブ国際協会、東濃信用金庫
山田典子	伝統的工芸品に対する企業の取り組みから生まれる地域振興についての一考察	(株)沖縄タイムス社、(株)琉球銀行、(株)JCC 百名伽藍、サントリー美術館、(株)北國銀行、京都和装(株)

- 本年度(2018 年)は、過去に論文執筆経験があり、芸術文化分野における職務経験などのある方を対象とする要項に沿い、2 名の応募者の中から 1 名を選出した。
- テーマは「アートフェスティバルの活用—自社の強みを生かしたメセナ活動(仮)」とし、近年国内で増加しているアートフェスティバルについて、財政支援だけでなく自社の強みを生かした支援を行っている企業 3 社を対象にその背景や自主企画と比較したメリット/デメリットについて調査、研究予定である。
- その他

調査依頼・問合せ等	内閣府、経済産業省、香川県庁、福井テレビジョン放送(株)報道部、(株)北海道新聞、(株)電通、(公財)福武財団、アンスティチュ・フランセ東京、ICOM(国際博物館会議)事務局、兵庫県立専門職大学準備室、南山大学、アートアソシエイツ八咫
記事掲載等	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁創立 50 周年記念資料集(文化庁) 2018 年 9 月発行 ・統計要覧 2019(日本政策投資銀行) 2018 年 12 月発行

1-3. 認定・顕彰事業

「This is MECENAT」

■メセナ認定「This is MECENAT」、継続認定活動が増加

- メセナ認定制度「This is MECENAT」(以下「TIM」)は 5 年目に入り、これまでの登録件数は延べ 670 件となった。新たな審査委員 1 名を迎え、TIM2018 審査会では 149 件、87 社・団体(2017 年度:154 件、85 社・団体)の活動を認定した。申請件数は減少したが、認定企業数が増加した。
- 募集開始時期を例年よりも 1 ヶ月遅い 4 月に変更し、TIM2017 にて新規で認定された企業への活動ヒアリングを積極的に行うことなどにより、TIM2018 でも継続して認定される活動が 112 件(前年度:99 件)となった。

■他事業との連携による新規活動の掘り起こし強化

- 広報や調査研究事業と連携し、外部のプレスリリース配信サービスを利用し告知先を拡大、調査回答企業へ積極的に働きかけるなど、新規活動の掘り起こしを行った。その結果、2018 年度の新規登録の企業・団体は 20 社・団体で、会員 5 社、非会員 15 社・団体となり、昨年同様、非会員企業が上回った。継続して認定されている活動が増えているが、新規登録数は昨年度の 27 社を下回った。今後も継続して新規活動の掘り起こしを行っていく。

■チラシデザイン変更や SNS の活用による情報発信の強化

- チラシデザインに変更を加え活動事例を載せることでメセナ活動をイメージしやすくし、全国各地の多様なメセナ活動の更なる顕在化および裾野の拡大を図った。
- Instagram 等の SNS を利用した認定活動の告知・視察報告や、メセナライターによる取材記事のウェブ掲載、TIM 特設サイトでの月毎の活動紹介など多様な発信媒体を活用し、認定活動の情報を発信した。
- 認定活動には「メセナマーク」(通称 M マーク)を付与しているが、活用例として WEB やチラシ、記録集等の印刷物に載せるほか、催事会場でのパネル掲出などの事例が見られた。これらの露出も増えてきており、当制度の認知度および価値が少しずつ高まってきている。

- 4月の応募開始に先立ち、全体的なTIM特設サイトのレイアウトを見直し、3月よりフロント画面の修正を行った。新たにメセナマーク活用事例ページや企業担当者コメント欄、公式SNSの投稿申請機能を追加。また、応募者や審査員からの声をうけ、応募期間外の新規アカウント登録・下書き保存機能、審査書類への画像掲載機能を追加した。より広くメセナ活動を理解いただく媒体として、継続的な情報の蓄積・発信とともに、利便性の向上・内容の充実に努めた。



This is MECENAT 特設サイト
新規ページ(活用事例)



THIS IS
MECENAT
2018

This is MECENAT 2018
マーク

「メセナアワード」

■「メセナアワード 2018」を選考、次世代育成や地域活性化の取り組みが受賞

- 「メセナアワード 2018」は「This is MECENAT 2017」で認定された活動 154 件を対象としており、5月末の締切りまでに 34 件の応募があった。また、認定・顕彰部会での 2 度にわたる検討会により推薦された活動を含め、最終的に全 50 案件を審査委員に提案した。
- 対象案件については、調査のため約 3 ヶ月間にわたって事務局が 20 社・団体へ取材に赴き、9 月中旬に選考会を 2 回実施。メセナ大賞 1 件、優秀賞 5 件、特別賞として文化庁長官賞 1 件（文化庁後援）を選出、優秀賞の賞名は評価ポイントを反映させるべく、審査委員が考案した。
- 子どもたちの読書推進活動から、音楽鑑賞機会の創出、地域活性化の取り組みや長年にわたる写真文化の普及、全国の芸術文化を支援する活動、そして 2 社共同の新たなメセナの取り組みが受賞。経営資源を活かし、工夫を凝らす活動が評価された。

■記者発表会、リーフレット制作による受賞活動の広報発信

- 10 月 26 日にプレスリリースを配信（文化庁同時）し、記者発表会を実施した。主要メディアをはじめ地方紙や業界紙、専門誌など 22 社（28 名）の記者が参加した。昨年までは事務局アワード担当者が活動内容を説明していたが、本年度から受賞各社のメセナ担当者からの発表に変更し、より理解を深めることになり、記事化につながった。受賞活動発表から贈呈式まで含めメセナアワード関連記事数は 102 件（12 月末時点）となり、大賞を受賞した講談社を中心に出版業界や写真業界の媒体や、地方企業の受賞コメントを交えた記事が多く掲載された。また、外部プレスリリース配信サービスも利用し、ネットニュースサイト等に 25 件転載された。
- 贈呈式の開催にあわせてリーフレットを制作し、受賞活動の紹介、大賞受賞のトップインタビューなどに加え、新たに来年度アワード選考の対象となる TIM2018 活動一覧を掲載した。出席者への配布のほか、協議会関係者約 1,820 社・団体へ郵送した。連動して協議会 WEB サイトからも発信し、式典での受賞各社の代表スピーチや選考評などもあわせて、レポートとして掲載した。

■贈呈式開催、若手新人作家によるトロフィー創作

- 贈呈式および記念レセプションを11月29日にスパイラルホール(表参道)にて開催。大賞を受賞した講談社 野間省伸社長はじめ各社のトップが登壇し、受賞の喜びをスピーチした。また、宮田亮平文化庁長官が出席したほか、協議会会員や文化関係者など約200名が集い、プレス関係者は約30名が出席した。
- レセプションでは、アサヒグループホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社よりドリンクの協賛をいただいた。また、優秀賞を受賞された八戸酒造からは日本酒と酒樽をご恵贈いただき、受賞企業代表者による鏡開きを行うなど盛況な会となった。また、受賞活動紹介の場として、展示スペースを設置するとともに受賞企業に演目を披露いただいた。
- トロフィー制作は、アワード当初より若手芸術家の育成のためスパイラル/ワコールアートセンターの協力のもと、3年ごとに新人作家に委託している。今年度より新たに青木美歌(あおきみか)氏にオリジナルのトロフィー制作を依頼した。



メセナアワード 2018 贈呈式(メセナ大賞 株式会社講談社)



大賞・優秀賞オリジナルトロフィー(撮影:佐藤茂)

【メセナ アワード 2018 受賞活動および受賞企業・団体】

	メセナ大賞	株式会社講談社 本とあそぼう 全国訪問おはなし隊
優秀賞	みんな笑顔で賞	アコム株式会社 「笑顔のおてつだい」バリアフリーコンサート アコム“みる”コンサート物語
	アートで未来盛り上げ賞	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 SOMPO アート・ファンド
	芸術創庫賞	株式会社東横イン ART FACTORY 城南島の運営
	酒芸の極み賞	八戸酒造株式会社 sake×art 日本酒を通じた陸奥八仙の取り組み
	瞬間の芸術賞	富士フイルム株式会社 「写真の過去・現在・未来」を発信し、「人」と「人」をつなぐ FUJIFILM SQUARE(フジフイルム スクエア)の活動
	特別賞: 文化庁長官賞	ぺんてる株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社 校舎の思い出プロジェクト

【This is MECENAT 2018／メセナアワード 2018 審査委員】

原島 博 (東京大学名誉教授) *審査委員長
 大竹文雄 (大阪大学社会経済研究所教授)
 大谷能生 (音楽家／批評家)
 中島信也 (東北新社取締役／CM ディレクター)
 松田法子 (都市史・地域史研究・生活文化論、京都府立大学講師)
 馬淵明子 (国立西洋美術館長)
 尾崎元規 (企業メセナ協議会理事長)

*以上五十音順、敬称略

1-4. 情報発信・提供

■ 広報活動

(1) プレスリリース

各事業の年間計画に基づき、協議会として効果的な配信に努めた。本年は認定・顕彰事業と連携し、TIM 募集やアワード受賞活動発表の際、活動実施企業所在地や活動ジャンルなどに関連した地方紙や専門誌を選定し、配信先にあわせて編集したリリースを送付。また PR TIMES などのウェブ告知媒体も活用し、より多くの記事掲載につなげた。

【プレスリリースによる情報発信:8 件】

No.	配信日	リリースタイトル
1	2/14	「SOMPO アート・ファンド」第3回助成決定 全国の個性豊かなアートプロジェクト・芸術祭等を支援
2	3/20	「This is MECENAT 2018」4/1より募集スタート 企業メセナ協議会が全国のメセナ活動を認定 —多様化する「メセナの今」を多角的に認定・発信—
3	3/26	企業活動としての価値重視、「SDGs」への貢献も意識 ～2017年度「メセナ活動実態調査」結果～
4	3/27	芸術・文化活動を支援するホテルオークラ東京の 「Hotel Okura Tokyo Cultural Fund」第2回助成 子どもを対象とした芸術・文化活動を採択
5	7/5	-This is MECENAT 2018- 企業による多彩な芸術・文化支援活動 149 件を認定
6	8/1	根気強く継続する活動を支援 芸術・文化による災害復興支援ファンド(GBFund) —第2回採択結果発表—
7	9/25	文化庁より「文化庁創立五十周年記念表彰」を受賞 ～企業メセナ協議会の永年にわたる芸術・文化振興への貢献を評価～
8	10/26	「メセナアワード 2018」受賞 7 活動決定 メセナ大賞は(株)講談社「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」

※上記プレスリリースのうち以下 1 件は英訳し、協議会の英語版サイトに掲載した。

2018. No.3: Placing Importance on Value in Corporate Activities and Awareness

Towards Contributions to SDGs

～Results of 2017 Survey for Actual Condition of Corporate Mécénat～

【PR TIMES を利用した掲載実績】

掲載日	内容	件数	主な掲載媒体
5/7	芸術・文化による社会の創造に取り組む活動を募集！ 「This is MECENAT 2018」	27	PRESIDENT Online／東洋経済オンライン／朝日新聞デジタル&M／現代ビジネス(講談社)など
7/5	-This is MECENAT2018-企業による多彩な芸術・文化支援活動 149 件認定	28	PRESIDENT Online／東洋経済オンライン／朝日新聞デジタル&M／現代ビジネス(講談社)／産経ニュースなど
10/26	「メセナアワード 2018」 受賞 7 活動決定	25	PRESIDENT Online／東洋経済オンライン／朝日新聞デジタル&M／YOMIURI ONLINE／現代ビジネス(講談社)など

【事業関連記事のメディア掲出数】

協議会全体	メセナアワード	TIM	調査研究	助成	国際	その他
3	107	29	1	11	1	185

(紙面、ウェブ掲載含む)

※「その他」185 件のうち、福原義春名誉会長の平成 30 年度文化功労者選定に関する記事は 159 件

※上記含め、メセナ全般や地域、海外、文化政策、文化動向などに関するクリッピング総数は 601 件

【主な掲出記事】

掲載日	媒体	内容	関連事業
1/6	朝日新聞 (岩手版)	3.11 その時 そして 大槌まつり向け道具調達 城山虎舞⑧	GBFund
3/11	新美術新聞	NEWS BOX 「SOMPO アート・ファンド」第 3 回助成決定	SOMPOアート・ファンド
3/12	毎日新聞	社説 大震災 7 年 郷土芸能 心の復興には欠かせない	GBFund
7/27	新聞之新聞	企業メセナ活動を認定	This isMECENAT
9/21	新美術新聞	「GBFund」第 2 回採択事業決定	GBFund
10/26	産経新聞	学校全体が巨大なキャンパスになる「校舎の思い出プロジェクト」が「メセナアワード 2018」文化長官賞受賞	メセナアワード
11/7	毎日新聞	メセナアワード 大賞に講談社「おはなし隊」	メセナアワード
11/30	朝日新聞	「メセナ大賞」に講談社	メセナアワード
12/4	読売新聞	メセナ大賞に「おはなし隊」	メセナアワード

※以上のほか、協議会事務局への「メセナ」に関する取材・掲載依頼対応が 8 件。

(2)ウェブサイト運営

引き続きウェブサイト・SNS・メールマガジンの連携強化を進め、会員のメセナ情報、協議会活動を発信

- 本年も、ウェブサイトを中心とした情報発信に注力し、会員のメセナ活動、協議会事業のレポート掲載を行い、メールマガジン、Facebook との連動を強化。また TIM サイトとも相互リンクにより連携し、お互いのウェブサイトのPV数向上のための工夫を重ねた。SNSではInstagramの利用を開始し、タイムリーな情報発信を実施。トップページで会員のメセナ活動を紹介する「アート&カルチャー」では136件・32社の活動を掲載した。
- 協議会30周年事業として計画中的ウェブサイトリニューアルに先立ち、協議会の持つウェブサイト全体のアクセス解析ができる体制に向けて準備をスタートした。また、ユーザーにとって分かりやすい様にトップページの見直しを行った。

【企業メセナ協議会ウェブサイトへの年間アクセス数】

	セッション数 (訪問回数)	ユーザー数 (訪問者数)	ページビュー (閲覧数)
2017年	109,786	72,838	411,544
2018年	107,031	73,921	386,761

※(外部サイトの「かるふあん」「TIM」サイトを除く)

※SNS フォロワー数: Facebook 2012、Twitter 1667、Instagram 27

(3)メールマガジン

メールマガジンについては、ウェブサイト「アート&カルチャー」掲載の会員活動や協議会のイベントニュースの紹介を中心に、毎月初めに定期配信を実施した。そのほか会員向けの優先情報配信として、「会員限定メルマガ」などの不定期配信を随時行った。メルマガ配信数は会員約620件、一般(協議会関係者・利用者)約2050件。メセナ担当者や幅広い文化関係機関への情報発信ツールとなっている。

(4)メセナライター制度

2015年度より継続しているメセナライター制度については、年間を通してテーマ性のある、より読みやすい連載コンテンツとしてリニューアルを行った。本年度は「企業の文化施設・アートスペース」というテーマを軸に、会員企業を中心に取材先を選定した。各ライターの専門性や自身のこれまでの活動を活かした取材により、企業のメセナ活動をより広い視点から紹介することができた。

第3期(2017年10月～2018年6月)委嘱ライター2名

第4期(2018年7月～2019年3月)委嘱ライター3名

【第3期メセナライターレポート掲出数:5件】

公開	タイトル	ライター
2月	Vol.1 アサツー ディ・ケイ「ADK アートギャラリー Collaborated by TOMIO KOYAMA GALLERY」	天田 泉
3月	Vol.2 パソナグループ「JOB HUB SQUARE」	高野英江
3月	Vol.3 株式会社東横イン「アートファクトリー城南島」	高野英江
3月	Vol.4 大正製薬「上原美術館」	天田 泉
7月	Vol.5 リンナイ株式会社「中川運河再生文化芸術活動助成事業(中川運河助成 ARTtoC10)への支援」	天田 泉

【第4期メセナライターレポート掲出数:3件】

公開	タイトル	ライター
8月	Vol.6 株式会社アーバネットコーポレーション「ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION」(AAC)	天田 泉
11月	Vol.7 公益財団法人竹中大工道具館	中原和樹
12月	Vol.8 公益財団法人ソニー音楽財団 第12回 国際オーボエコンクール・東京	福田里香

■出版、ライブラリー

メセナ情報の提供とライブラリー運営、協議会出版物の電子データ化

- 協議会に蓄積された出版物を有効活用するため、これまで協議会が発行してきた出版物の電子データ化に着手。これらの有効活用を図るため、ウェブリニューアルにあわせてウェブライブラリーとして公開することを検討。
- 既刊発行物の販売を実施【年間売上件数:25冊】
 - ・『メセナセミナーシリーズNo.10 企業へのアプローチガイド』(2007年3月発行) 18冊
 - ・『メセナを知る本』(2010年12月発行) 7冊
- 協議会事務所内のライブラリーでは、企業メセナ、社会貢献、CSR活動および文化政策、アートマネジメント等に関する情報収集活動を行い、レファレンス対応も積極的に行った。
- 蔵書・資料の整理をすすめるとともに保管ルールを見直し、ライブラリーが広く有効活用されるよう検討した。

【ライブラリー概要】

公開時間	月曜～金曜日、11:00～17:00(要電話予約)
開架資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 和書・報告書: 1,627冊(企業と文化・社会貢献、文化行政・文化政策、アートマネジメント・文化経済学、公益法人・NPO・文化税制、名簿・年鑑・一覧) ● 洋書: 563冊(14カ国の文化政策、アートマネジメント関連) ● 企業・企業財団の資料: 約960企業・団体分 ● 新聞・雑誌掲載記事(1989年12月～2018年12月) ● 定期刊行物: 行政、芸術団体、研究機関、NPO、他
閉架資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像・音声資料: 265点(主催セミナー: 1998-2001年)、メセナアワード贈呈式: ～2008年 他)
年間利用者数	2名(大学院生)

1-5. 普及促進

セミナー・フィールド視察

■2020年の先を見据えた文化政策セミナー、

地域におけるアートプロジェクトのフィールド視察等を実施

- 協議会事業と関連した講演会や助成事業と絡めたフィールド視察を通じて、企業メセナ・文化政策に関する知見を深める企画を実現できた。文化庁や文化専門家を講師に招き、参加者も会員企業担当者、芸術文化財団、文化施設などの幅広い文化関係者が集まり、知識を深める機会ともなった。

特別講演会「2020年文化プログラムと未来に向けた文化支援」

2020年のオリンピック以降を見据えて、一過性ではない日本全国に向けた文化支援のあり方について、「東京2020文化・教育委員会」委員長等を務める青柳正規氏より講演いただくとともに、2020年に向けた施策について文化庁担当室長より紹介をいただき、企業メセナの意義や課題について、改めて考える機会として開催。

- 日時:2018年3月5日(月)14:00~14:50
- 会場:大手町フィナンシャルシティ・カンファレンスセンター ホール1
- 登壇者:
青柳正規(東京大学名誉教授・文化庁前長官)
高田行紀(文化庁長官官房政策課文化プログラム推進室担当室長)
- 参加者:45名(会員38名、一般4名、学生3名)

*文化庁 平成30年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」委託事業

- メセナやアートの現場を訪ねる「フィールド視察」は、「SOMPO アート・ファンド」との連携により、第3回助成活動のうち、同ファンドが注力する被災地支援の観点から、2016年の熊本地震で被害を受け、助成対象となった大分県の2活動を視察した。2018年は「国民文化祭」が大分県で開催され、その一環の活動としても行われており、プログラムの見学を通じて、アートフェスティバル・アートプロジェクトを通じた新しい地域活性化の先進事例を知ることができた。

「アニッシュ・カプーア in BEPPU」

水郷ひた芸術文化祭 2018 大巻伸嗣個展「SUIKYO」 助成活動視察

今回の視察では国民文化祭のアドバイザーであり、「アニッシュ・カプーア in BEPPU」の総合プロデューサーを務める現代美術アーティストの山出淳也氏のご案内により実施。作品一つひとつの解説をはじめ、開催までの経緯や今後の課題などもお話しいただき、それぞれのプロジェクトの目的や意義、展開などを実際の作品とともに体験。同ファンドが支援する活動の状況を見て実感することができた視察となった。

- 日時 :2018年11月17日(土)~18日(日)
- 視察先・内容:大巻伸嗣個展「SUIKYO」(日田市)、
「アニッシュ・カプーア in BEPPU」(別府市)等、市内作品視察





メセナネットワーク

■会員間の新たな交流を育み、活動の輪を広げ、企業メセナの先進事例に触れる機会づくり



【新入会員ファーストミーティング】

- 会員ネットワーキンググループ幹事の企画で、「新入会員ファーストミーティング」を開催し、3社5名の新会員が参加した。各社のメセナ活動についてプレゼンテーションを行う他、協議会の活動概要等を紹介し、懇親会にて会員ネットワーキンググループのメンバーおよび事務局スタッフも含め、相互に交流を深めた。

<p>7月4日(水) 15:30~17:30 協議会事務所</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 参加会員 12名、うち新入会員以下3社: 井上ルミ子、鈴木麻理奈(東京ミッドタウンマネジメント)、樋口哲也(リンナイ)、久保香織、山本文美(アーバネットコーポレーション) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
---	---

【メセナ美術部】

- 「メセナ美術部」の第9回企画として、銀座の3社がもつ4つのギャラリーの連携プロジェクトである「銀クリ」のツアーを開催。企業間連携や地域活性化の好事例として企画・実施した。各視察先のご協力のもと、3社による協働の経緯や各館の特徴について、また各ギャラリーご担当者による展示解説など、企業メセナや他社との連携による芸術支援の取り組みに触れる機会となった。美術関係の会員各社・団体をはじめ、文化施設運営や事業企画に従事する担当者など幅広い参加者が集い、視察先の理解を深めるとともに、参加者同士の交流機会の場となり、好評を得た。

<p>12月13日(木) 16:00~18:00 東京都中央区</p>	<p>メセナ美術部 第9回「銀クリ」ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> • 視察先: ギンザ・グラフィック・ギャラリー(大日本印刷)、資生堂ギャラリー(資生堂)、ガーディアン・ガーデン、クリエイションギャラリーG8(リクルート) • スピーカー:小森福見(リクルート)、井上香苗(資生堂)、田中文(DNP 文化振興財団) • 参加者:21名(会員19名、一般2名) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
---	--

■ 国際交流

ASEAN 諸国(インドネシア、マレーシア、シンガポール)との国際会議・企業視察を実施

- 2015年から3年続いた国際交流基金アジアセンター「アジア・文化創造協働助成」事業の助成を受け、最終年にあたる本年は集大成として2月にインドネシア、マレーシア、シンガポールよりゲストを招聘し、国際会議を開催。これまでの成果と今後の課題などについて議論を深めた。

【国際会議(2/7)】

アセアン・カフェ

「企業と歩む、アジア社会と芸術文化支援 ～3年間のASEANプログラムの成果を踏まえて～」

・日 時： 2018年2月7日(水) 15:00～17:00

・会 場： 損保ジャパン日本興亜日本橋ビル

2015年より継続する、ASEAN文化関係機関との交流プログラムのクロージングフォーラムとして開催。これまでの交流の成果を振り返りながら、3か国の文化に関わる専門家が発表を行った。それらをヒントに、現在の文化動向や新しい社会的起業の動き、そしてアジア社会における企業と芸術文化支援のこれからについて、オープンディスカッションを実施。

・参加者： 40名(登壇者3名、会員・関係者25名、一般12名)

・登壇者：

・マルコ・クスマウイジャヤ(都市研究ルジャックセンター、ディレクター/インドネシア)

・ブライアン・ジョンソン・ロウエ(マイ・パフォーマンス・アーツ、共同設立者・ディレクター/マレーシア)

・コリン・ゴー(ライスカンパニー、共同設立者・経営責任者、ミレット・ホールディングス 常務理事/シンガポール)

[助成] 国際交流基金アジアセンター

[アセアン・パートナーズ] 都市研究ルジャックセンター(インドネシア)

マイ・パフォーマンス・アーツ・エージェンシー(マレーシア)

[協力] 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

【都内企業訪問(2/8)】

都内企業メセナ視察

・日 時： 2018年2月8日(木) 10:00～16:00

・視察先： 三菱地所株式会社・株式会社電通

会員企業による、日本の企業メセナの優れた2事例を視察し、その取り組み内容や理念等について説明を受けた後、意見交換を行った。

・参加者： 11名

・マルコ・クスマウイジャヤ(都市研究ルジャックセンター、ディレクター/インドネシア)

・ブライアン・ジョンソン・ロウエ(マイ・パフォーマンス・アーツ、共同設立者・ディレクター/マレーシア)

・コリン・ゴー(ライスカンパニー、共同設立者・経営責任者、ミレット・ホールディングス常務理事/シンガポール)

・ワイニング・サム(ライスカンパニー、マーケティングコミュニケーションズ&パートナーシップス部長/オーストラリア)

・ジャニン・コリンズ(J9コンサルティング、プリンシパル/オーストラリア)

・ブルース・マカスキル(マネジング・ディレクター、フィット・スポンサーシップ・グループ会長/オーストラリア)

・レックス・クラン(マネージャー、フィット・スポンサーシップ/オーストラリア)

他 事務局2名、プログラムコーディネーター1名、通訳1名

[助成] 国際交流基金アジアセンター

[協力] 三菱地所株式会社、株式会社電通

- ・ 昨年に引き続き、これまで交流を深めた ASEAN 各文化団体の最新動向を紹介するインタビュー記事と、アセアン・カフェや都内の企業視察などのレポートをウェブサイトに掲載(日英)

No.	掲載日	記事タイトル
8	4/4	ドイツ銀行【シンガポール】
9	4/4	マリーナ・ベイ・サンズ【シンガポール】
10	4/4	ナショナル・アーツ・カウンシル【シンガポール】
11	4/10	アセアン・カフェ【東京】 「企業と歩む、アジア社会と芸術文化支援～3年間のASEANプログラムの成果を踏まえて～」～前編～
12	4/10	アセアン・カフェ【東京】 「企業と歩む、アジア社会と芸術文化支援～3年間のASEANプログラムの成果を踏まえて～」～後編～
13	5/10	東京企業視察①～三菱地所株式会社～【東京】
14	5/10	東京企業視察②～株式会社電通～【東京】
15	5/10	ASEANプロジェクトを通じて得られたもの、そして今後に向けて

- 韓国済州島の済州メセナ協会より、日本の芸術文化支援を通じた戦略的な社会貢献活動のあり方を知るとともに、済州・日本間のネットワーク構築を目的とした訪問の希望があり、9/5(水)に受入れ。企業メセナ協議会の活動について紹介を行った。その後、会員企業への視察を実施。

【都内企業訪問(9/5)】

<p>都内企業メセナ視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：2018年9月5日(水) 13:30～15:30 ・視察先：株式会社電通・アドミュージアム東京 <p>会員企業のメセナ活動として株式会社電通を訪問し、その取り組み内容や理念等について説明を受け、意見交換を行った。その後、アドミュージアム東京を見学。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：9名 <p>【韓国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チョウ・スンヒ(済州メセナ協会、マネージャー) ・コウ・ガイエン(済州メセナ協会、事務局長) ・リー・ユンヨン(済州メセナ協会、事務局員) ・リー・ヨンジ(済州メセナ協会、事務局員) ・カン・ジョン((株)サムヨン交通 社長) ・ヤン・チョルウン(済州旅客自動車(株)) <p>他 事務局2名、通訳兼ガイド1名</p> <p>[協力] 株式会社電通</p>
--

■ 地域メセナ交流・推進

各地域の文化振興に寄与

- ・ 全国メセナネットワークの総会・交流会に参加し、各地のメセナ団体とそれぞれの取組・課題について発表するなど情報交換を行った。視察も行い、実際に行われている活動について理解を深めた。
- ・ コーディネート事業を中心として、具体的な相談に応じ提案等を行った。損害保険ジャパン日本興亜が設立した「SOMPOアート・ファンド」では、全国各地のアートフェスティバルやアートプロジェクトに対する助成を行い、墨田区の「隅田川 森羅万象 墨に夢」のプロジェクト運営(2018年3月迄)のほか、企業と自治体、アートNPOや市民をつなぐプラットフォームとしての機能を充実させるよう努めた。

- 「This is Mecenat」認定、「メセナアワード」受賞活動等のプレスリリース発行に際しては、該当する地域の活動が前面にできるよう編集しその地域メディアに積極的に働きかけるなど、それぞれの活動に対する理解を広めるよう努めた。


1-6. コーディネート、協力

■芸術文化振興の専門機関として幅広い相談・協力に対応

企業メセナの専門機関として、協議会に蓄積された情報や知見を活かし、公益芸術団体や専門職大学設立に関する相談を受けるなど芸術文化振興に関わる幅広い相談に応じる他、具体的なメセナプログラムの開発や協力、コーディネート事業を展開。企業間および企業と他のセクターをつなぐ役割を担った。

東京都が 2020 年に向けて都民のボランティア参加を促すべく、「東京都ボランティア活動推進協議会 気運醸成分科会」を設置。この構成機関として依頼があり、経団連1%クラブや経済同友会、東京商工会議所ほか、教育機関や中間支援組織等とともに会議に参加している。東京都の主催により「共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」が設けられ、企業メセナでボランティア活用に取り組む案件を複数推薦した。

- トヨタ自動車が発行するアートマネジメントに関する総合サイト「ネット TAM」については、本年度も継続して事務局を担い、毎月の定例会議を行いながらトヨタ自動車との協働により内容の充実を実現している。2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、引き続き文化プログラムをテーマに各コンテンツを展開した。英語版ではテーマに沿った過去記事を選定・翻訳し、新コンテンツ「Pick up Column」へ掲載。世界へ向け発展的に発信を継続している。またモバイルによるサイト閲覧がすでに半数を超えている現状から、寄稿記事の閲覧促進および読者の閲覧環境への配慮からレスポンシブ化を行った。

トヨタ自動車	アートマネジメント総合情報サイト「ネット TAM」の運営
<ul style="list-style-type: none"> アクセス数(年間) 訪問数:約 130 万、ユーザー数:約 56 万、 ページビュー:約 420 万 主な更新内容: コンテンツ連載(月 1~2 件更新) 【オリンピック文化通信】・・・オリンピック文化プログラムに関する情報発信レポート。 【リレーコラム】・・・アートマネジメントの現場で活躍中の方々が 1 つのテーマに沿ってリレー形式でつなぐエッセイ。 ・「アートプロボノの可能性」(~2018 年 4 月) ・「2030 年の美術館」(2018 年 10 月~) 【ネット TAM 講座】・・・ウェブで学ぶアートマネジメント講座。 ・実践編「アートプロジェクト」 協力:アーツカウンシル東京 ・「アートマネジメント、再び」-入門編「アートマネジメントとは」(改稿版) 訪問数:約 11 万 PV(年間) 【英語版サイト】「Olympiad Culture Express」「Pick up Column」 	<p>主な業務内容:アートマネジメント総合情報サイト「ネット TAM」(www.nettam.jp)事務局の運営、サイトの管理・運営、コンテンツの企画・制作、運営事務局の定例会開催、メルマガ配信(毎月 1 日)、SNS 管理・運営</p> 

- 2017 年度、墨田区、公益財団法人墨田区文化振興財団が実施するアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」の事務局を受託した。(2018 年 3 月まで)

【文化関係機関等からの協力依頼対応】

■受賞・表彰

依頼元	内容(期間・開催日)
文化庁	日時：2018年9月30日(日) 文化庁創立50周年記念表彰 企業によるメセナ活動の実態調査、認定・顕彰及び助成活動等を通じ、我が国の文化芸術の振興に多大な貢献をしていることによる。

■講義・出演

依頼元	内容(期間・開催日)
東京築地ロータリークラブ	東京築地ロータリークラブ例会での卓話 日時：2018年8月6日(月) 会場：コートヤード・マリオット銀座東武ホテル 講演：「未来をきり拓く企業のメセナ活動」
日本大学芸術学部	日時：2018年10月15日(月) 会場：日本大学芸術学部 講演：「アートと企業メセナ」

【その他協力依頼対応】

■委員・役員

依頼元	内容(期間・開催日)
文化庁	平成29年度「国民文化祭に関する調査研究」業務先選定に係る技術審査専門員(2017年3月15日～2018年3月31日)
文化庁	平成30年度国民文化祭実行委員会委員
文化庁	第30回芸術文化助成財団協議会と文化庁との連絡会議(2018年2月16日)
東京都	東京都ボランティア推進協議会構成団体(2015年9月3日～)
静岡県	「静岡県文化政策審議会」委員(2017年9月5日～2019年3月12日))
横浜市	平成29年度「横浜市広報企画審議会」委員(2017年7月1日～2018年6月30日) 平成30年度「横浜市広報企画審議会」委員(2018年7月1日～2019年6月30日)
船橋市	「船橋市文化振興推進協議会」委員(2017年10月10日～2019年10月9日)
特定非営利活動法人 日本NPOセンター	評議員(2017年7月1日～2019年6月30日)
認定NPO法人 トリトン・アーツ・ネットワーク	第6期評価委員会委員(2017年～2020年)
公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会	平成29年度「実演芸術団体の就労環境改善のための調査研究」専門家研究会②(2018年3月7日)
三陸国際芸術推進委員会	「三陸国際芸術推進委員会」オブザーバー ▶ 準備会(2018年7月17日)、設立総会(11月5日)

■後援 ラベル提供

依頼元	内容(期間・開催日)
特定非営利活動法人 世界劇場会議名古屋	世界劇場会議名古屋フォーラム 2018 (2018年2月8日、9日)
沖縄県	平成29年度沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業 文化芸術に関する企業等向けセミナー 「文化による企業と地域のあたらしい関係づくり」 (2018年3月12日)
特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会	ファンドレイジング・日本 2018 (2018年3月16日、17日、18日)
ローム株式会社	ロームミュージックフレンズ No.6(2018年4月11日) ロームミュージックフレンズ No.7(2018年11月26日)
パリ日本文化会館	パリ日本文化会館・日本友の会発足20周年記念レセプション (2018年5月29日)
特定非営利活動法人 世界劇場会議名古屋	世界劇場会議名古屋フォーラム 2018 (2018年6月1日)
株式会社 ホテルオークラ東京	チャリティーイベント第24回「秘蔵の名品アートコレクション展」 (2018年7月30日～8月23日)
千島土地株式会社	Open Storage 2018 (2018年8月20日)

■大学生の実習・インターンシップ受入れ

- 昭和音楽大学ではアートマネジメントの授業の一環として実習・インターンシップ制度を取り入れており、同大学からの依頼によりアートマネジメントコースの学生1名を受入れ、協議会の活動や企業メセナについての理解を深めてもらう機会を提供した。

公2:芸術・文化活動等への寄付を促す助成に関する事業

2-1. 2018年重点活動

■助成事業のWEBシステム「かるふあん！」のシステム構築の改良

2014年導入後、不具合の発生頻度が高く、利用者の不便と管理の非効率な部分が多かった。その状態を改善するため、年度途中から新たなシステム開発業者と連携しながら、利用者(芸術・文化活動団体(者)と寄付者)と管理側それぞれの立場からの利便性を上げる改良を行った。途中段階のため来年度も継続し、さらなる改善を推進する。

■助成事業の体系化とデータベース化の推進

活動者の利便性を高め、一層多様な支援が行えるよう、助成事業全体の体系化とデータの一元化を目指し、2021Arts Fundと助成認定制度の運用について再検討を行った。本年は助成事業全体の体系的な整理を行うため、ファイルメーカーにてデータベースを構築し、データインポートを実施した。あわせて日々の寄付授受の処理への活用をスタートし、来年度以降のデータ分析・活用のための土台づくりを行い、来年度にかけて段階的に進めていく。

■助成 GBFund の運営の見直し

設立から7年が経過し、寄付金の著しい減少傾向にともない、協議会が寄付を募り、それを原資とした再配分による助成金交付という今までのファンド運用方法を見直すため、寄付の受け入れ方法を変更した。

2011年3月11日に発災した「東日本大震災」、2016年4月14日に発災した「熊本地震」、および下記(1)～(3)の要件をすべて満たした場合において、寄付先の活動が具体的に決まっているものや、寄付をいただく方々の意向がある場合は、事務局によるコーディネートのもと、寄付の受け入れを実施することとした。それに伴い実施規定の改定を行った。

- (1)「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」(以下激甚災害法)により指定された災害。
- (2)気象庁により顕著な災害を起こした自然現象として命名された災害。
- (3)赤十字による募金のための口座開設などを目安とし、災害による社会的影響が明らかで、事務局が災害規模・被害状況を鑑み、調査検討をしたうえで弊会代表理事2名が芸術・文化による支援が適う被災状況と判断し承認した場合。

本年7月に発災した「平成30年7月豪雨」について寄付者からの要望もあり、支援先の調査・検討し、11月27日に寄付の受け入れを決定した。寄付の受け入れと活動助成は来年度の予定。

2-2. 2018年 助成事業の活動状況

2-2-1. 2021 芸術・文化による社会創造ファンド[2021ArtsFund]

■全体の利用実績

1. 【申請・採択状況】

(1)目的別ファンドの継続運用と寄付者の要望に沿った寄付コーディネートを実施。

・SOMPO アート・ファンド (2016年6月設立)

当ファンドの特徴である、各地の活動をつなげ、ネットワークの形成を目指した活動報告会を実施。2018年は2月27日に、活動団体が一同に会し、交流の場を創出した。活動の成果や課題を共有することによって、活動がよりよい活動となることに貢献した。

実施回	選考日	申請数	採択数
第1回	2016年7月22日	公募実施せず	18件
第2回	2017年5月15日	98件	20件
第3回	2018年1月26日	137件	16件
第4回	2019年2月1日予定	152件	—

・Hotel Okura Tokyo Cultural Fund (2017年3月設立)

実施回	選考日	助成総額	採択数
第1回	2017年3月16日	2,774,000円	3件
第2回	2018年3月6日	1,000,000円	2件
第3回	2018年12月17日	900,000円	2件

※活動の公募は実施しない。

(2)芸術・文化団体による活動の利用状況

2018年度各回利用実績

実施回	選考日	申請数	採択数
第1回	2018年3月6日	7件	4件
第2回	2018年6月22日	4件	4件
第3回	2018年9月22日	5件	4件
第4回	2018年12月17日	7件	7件
合計		23件	19件

年度別利用状況の推移

実施年度	申請数	採択数
2016年度	20件	16件
2017年度	27件	22件
2018年度	23件	19件

2.【寄付・助成状況】 SOMPO アート・ファンド、Hotel Okura Tokyo Cultural Fund を含む

年度	寄付総額	助成総額
2016年度	377,876,359円	312,131,769円
2017年度	256,823,600円	191,149,911円
2018年度	332,193,261円	300,837,133円

2-2-2. 「芸術文化による災害復興支援ファンド」(GBFund)

■全体の利用実績

1.【申請・採択状況】2017年1月名称変更より

実施回	選考日	申請数	採択数
第1回	2017年7月14日	54件	11件
第2回	2018年7月13日	46件	13件

2.【寄付・助成状況】※2011年3月設立「東日本大震災による復興支援ファンド」を含む

年度	寄付金総額	寄付金累計額	助成金総額	助成金累計額
2017年度	4,367,060円	159,085,370円	4,897,390円	145,430,577円
2018年度	1,445,824円	160,531,194円	3,080,000円	148,510,577円

2-2-3. 助成認定制度

■ 小さな活動を支援する、寄付集めの入り口として定着

2021 Arts Fund 運用開始後、中・小規模の活動にご利用いただき、任意団体や比較的身近な芸術・文化活動を実施されている方々を支援する制度として定着してきた。あわせて寄付集めをするための入り口と位置づけ、協議会の助成制度の中核となっている。

■全体の利用実績

1. 【申請・認定状況】

実施回	審査日	申請件数	認定件数
第1回	2018年3月6日	20件	18件
第2回	2018年6月22日	32件	27件
第3回	2018年9月19日	21件	17件
第4回	2018年12月17日	15件	10件
合計		88件	72件

2. 【年度別利用状況の推移】

実施年度	申請数	認定数
2016年度	102件	81件
2017年度	72件	65件
2018年度	88件	72件

3. 【助成認定制度を通じた寄付件数と寄付金額】

年度	寄付件数	寄付総額	助成総額
2016年度	337件	62,765,639円	67,485,639円
2017年度	412件	76,613,798円	77,024,613円
2018年度	471件	74,981,467円	75,820,652円

以上